

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年5月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677000111
法人名	社会福祉法人 福寿会
事業所名	グループホーム るーぴんのさと <大崎>
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉6033番地 (電話) 099-471-7390
自己評価作成日	令和5年4月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年5月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様が毎日笑顔で過ごす事が出来るように個々に有った支援を行っています。(レクリエーション、数字並べ、生活リハ等)
中庭には四季折々の花があり天気の良い日は利用者様が水やり、又草取りを行っています。
週二回は手作りの日を設けてその時期の旬の物を使い料理を提供しています。
コロナ禍で、家族との面会が出来ず今回面会室が出来いつでも会いたい時に会える様になりました。
運営推進会議では、地域の消防団、派出所の方も参加して頂き情報共有をしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は特別養護老人ホームを母体とする社会福祉法人の運営であり、合同の会議や研修会開催など法人内の協力体制が築かれている。
- ・協力医療機関との緊急時を含めた24時間医療連携体制及び訪問看護師による健康管理により、健康・医療面における家族の安心となっている。
- ・コロナ禍のため家族との交流も制限されているが、本人・家族間の精神的安定と関係の継続を図るため面会室を設置し、3月末より面会が実施されている。
- ・管理者は、職員の資格取得や研修受講を支援し資質向上を図っている。日頃から話しやすい雰囲気づくりに努め、職員の意見を運営に反映できるようにしている。リフレッシュ休暇取得や個人的な事情にも配慮した働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を見えやすい位置に掲げて意識付けを行っている。	事業所独自の理念を、フロアや職員の食事スペース等の目につきやすい場所に掲示している。朝の申し送り時に唱和して理念を意識付け、年度末にはケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で交流は出来ていない。	運営推進会議委員から地域の情報を得ているが、コロナ禍のため地域との交流は見合わせている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍により進んでいないが、発信方法を模索している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開催した際は消防団、派出所の方も加わり情報交換をしているが、コロナ禍で書面開催が多かった。	2ヶ月に1回の運営推進会議は、コロナ禍のため5回を書面開催、1回のみ対面で実施した。徘徊対策のセンサー設置について多角的な立場から意見交換を行った結果、事業所の取り組みについての理解を深めてもらう良い機会となった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や役場、地域包括に足を運び情報共有をし協力関係を築いている。</p>	<p>町の担当者とは、運営推進会議での意見交換や窓口に出向いての相談等で日頃から連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>各事業所や法人全体で話し合いを行っている。</p>	<p>法人で指針を作成し、委員会を毎月、研修会は年2回実施している。事業所の処遇会議時にスピーチロックについて注意し、対応を話し合っている。日中の玄関は施錠はせず外に出たい利用者には職員が散歩に同行するなど、行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>メディパスアカデミーというアプリ教材を使用し勉強を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>身体拘束虐待防止委員会を中心に勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の説明を行う。又その後のフォローを行っている。</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からの情報などは情報ツールを使用し共有するようにしている。</p>	<p>本人には日常会話の中で要望等を聞き、希望に沿って一緒におやつを作るなどしている。家族には電話や面会時に要望等を聞いて対応に努めている。家族から衣類購入を依頼された際、職員が家族の買い物に同行して購入の支援を行った事例がある。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>部首会議・処遇会議を通じ意見交換を行っている</p>	<p>日常的に職員が気軽に意見を言える雰囲気づくりに努めており、会議等で出された提案は1週間の試行を経て処遇会議で検討し、意見を反映できるよう努めている。年2回の個別面談及び随時の個別相談は管理者が対応している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課を行い、評価体制を整えている。年に1回リフレッシュ休暇を取得している。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>メディパスアカデミーというアプリ教材を使用し勉強を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍で交流は行えなかった</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>個別ケア行い会話の中で現在困っている事など引き出し情報を得ている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時のサービス担当者会議や入居者様本人、ご家族との会話にて得られた情報から介護計画を立てている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所も申し込み時入居時、ご家族様との面談時に計画を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>会議や日々の支援の中で職員と利用者様の相互関係を築く働きをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当者は利用者様に必要な物をお便りなどに記入し家族に持って来てもらう等支援の協力を仰いでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍より困難である。	面会室を設置し、本人・家族が交流しやすい環境づくりに取り組んでいる。2ヶ月毎に写真を添えた便りや電話での近況報告などで家族とのつながりが途切れないように支援している。墓参りの個別支援も実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が身の上話などの会話を行っている。時々暴言など言われる利用者様もいる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同じ法人へ移動が有った際は時々面会を行い、又特養の相談員と連携を取っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族からの話をもとにアセスメントを行っている。	日常会話の中で本人の思いを把握するように努めている。食べ物の希望があればおやつや昼食に取り入れている。家族や職員で話し合い、思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様の話や関係機関からの情報を参考にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の中での生活パターンを把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回の処遇会議やサービス担当者会議での結果をもとに計画している。	本人や家族から希望を聞いている。担当者会議は家族と職員が話し合い計画を作成している。モニタリングを3～6ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び必要時に計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	健康チェック表排泄チェック表を用いて情報共有を行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	職員による日々のケアでの気づきやご家族様・利用者様との話の中でサービス向上に努めている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	新型コロナウイルス感染症予防の観点から地域住民との交流が難しい状況である。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	主治医の的場医師による往診で対応している。	契約時に了解を得て協力医をかかりつけ医としている。24時間の医療連携体制で月2回の訪問診療及び必要時の往診を実施している。週1回訪問看護師による健康管理もあり、必要な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃から施設看護師・的場クリニック看護師・訪問看護ステーションオハナと連絡を取れるよう体制が整っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先へ訪問し、関係者と情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時や入居後も急変時や状態変化時の事に関して話をし、方針を決定している。</p>	<p>法人の指針があり、入居時に説明し同意書を得られている。入居後は、変化に応じて段階的に説明し年1回は意向を確認している。家族の意向に沿って支援に取り組み、看取り介護については家族の意向と状況によって実施を検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署での救急救命講習への参加を行っていたが、近年はコロナ感染症で中止になり出来ず、施設で看護師が行う研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の消防署員の立会の元で避難訓練を行い、非常食や緊急連絡網整備など災害に備えている。本年度避難訓練は消防団にも参加して頂き協力体制を作った。</p>	<p>年1回夜間想定訓練時に消防署の立ち合い及び消防団の参加があり、自主訓練は年1回夜間想定で実施している。法人内緊急連絡網を整備し、避難路はウッドデッキを想定している。非常用の備蓄は、3日分の水・米・缶詰・インスタント食品等の食料を確保している。蓄電池を設置しており、災害時は地域の避難受け入れを予定している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に声を掛ける際は声のトーンに気を付けている。難聴の方にもボードに書き対応している。	接遇研修を実施し、利用者一人ひとりの心身の状態に応じた声掛けを工夫している。誇りやプライバシーを損ねないよう、さん付けで呼びかけ、排泄失敗時の声掛けへの気配り、申し送り時はイニシャルを使うなどしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の意思決定がしやすいように援助している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースに合わせる工夫をし、要望があれば話し合いを行う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	居室のタンスの中にお気に入りの服を用意したり、本人様へ着たい洋服を選んで頂いている。イベントの際は化粧を行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用様が食べたい物を、一緒に調理する援助を行っている。</p>	<p>週1回の朝・昼食及び週3回のおやつ、季節の行事食は職員が調理し、その他は業者の配食を受けている。利用者の食べたいものや利用者と一緒にホットプレートで料理を作るなど、食事を楽しむ工夫を行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ご本人の好みや状態に合わせて調整している。</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>義歯の状態や口腔内の観察を行い、歯科往診にて調整を頼んでいる。</p>	/	/
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>日中は声掛け誘導によるトイレ排泄を促している。夜間は個々の状態に応じた排泄の援助を行っている。</p>	<p>チェック表で把握したパターンを参考に声掛けや誘導で、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。定期的に排泄誘導で尿意がわかるようになった利用者やオムツからリハビリパンツに改善した事例がある。夜間は転倒予防のためポータブルトイレの使用もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	状態に合わせた牛乳の提供や芋等の食物繊維の提供を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴剤・冬至には柚子風呂を楽しんで頂いております。入浴実施の状況を見ながら声掛けを行っている。	週3回の入浴を午後に実施している。個々に湯を入れ替えて入浴剤やゆず湯を楽しんでいる。シャワー浴と足浴の実施や2人介助などで対応し、嫌がる場合は時間をずらしたり日を改めて無理強いせず、入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はフロアで過ごして頂き、活動量を上げ、夜間は安眠が出来るような雰囲気を作るようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をファイルし、提携している薬剤師との連携を図り支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>黒砂糖や好きなお菓子の提供や踊り等、利用者様の好みを調べ実施している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナの感染症予防の為家族・行事・外出は自粛している状態である。普段は中庭に花が有るので、自由に外へ行き花を見る事が出来る。</p>	<p>日常的に中庭や玄関先の花を眺めて楽しんでいる。コロナ禍のため外出は控えているが、県下一周駅伝の応援を沿道で行ったり、ルーピンの花見ドライブに出かけたり、個別支援の墓参りのドライブ、家族の受診同行等で外出する利用者もある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者様のお金を金庫で保管し、買い物の際に使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様から届いた手紙を渡し読んで頂く。又、デジタル機器を使いオンライン面会を実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様にとって心地よい環境を提供できる様に、職員間で話し合っている。	広いホールは天井が高くゆったりしている。空気清浄機や加湿器・エアコンで適度な室内環境に調節し、換気は高窓を少し開けて行われている。仏壇のある畳部屋もあり、掃き出し窓からウッドデッキに出られ、開放的な造りである。利用者は好みの場所でくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様の状態に合わせて、職員が声掛けを行ったり、席の変更などして臨機応変に対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の馴染みのある家具や小物・写真を置いたり、レイアウトを考える等住環境を考え、居心地よく過ごせる様に工夫をしている。	居室は和室と洋室があり、掃き出し窓からウッドデッキに出られる。居室には空気清浄機・ベッド・クローゼット・洗面台・エアコンが備えてあり、寝具はリースである。本人は居心地よく過ごせるようテレビやタンス・毛布・敷パットの寝具・遺影・時計等を持ち込んでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレは安全自立した排泄が出来る様な作りにし、浴室は家庭的な雰囲気や大事にした作りとなっている。介護度が高い利用者様も自立支援出来るように手すりなど設置している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない(コロナの影響により)
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない